

平成31年度学校評価（自己評価）

本年度の 重点目標	『意志あるところに 道は開ける』 自己理解、目標設定、正しい努力		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項
総務部	防災教育の充実と保護者のニーズに対応したPTA活動の工夫、及び教員の多忙化解消にむけた業務の効率化を図る。	・防災マニュアルの改訂と避難訓練の工夫や帰宅困難生徒対策を検討する。 ・PTA活動の精選と実施方法の再検討を図る。 ・業務のマニュアル化と共有化を図る。	・個人で「保護者に連絡を取り帰宅する」方法へ転換する際の携帯電話の扱いについて、他の分掌と意見交換しながら進める。 ・PTA活動の精選、実施方法の再考については保護者の意見を十分に取り入れて行う。 ・誰が担当になっても、業務実施に支障をきたさないようなマニュアルを工夫する。
教務部	・授業に主体的に参加する態度を育成し、学習意欲の向上や学習習慣の確立を図る。	・主体的、探究的に学ぶ姿勢や意欲を、積極的に評価する。 ・授業参観週間にあわせ研究授業を実施し、授業改善に努める。 ・学年や教科が連携し学習指導の体制を強化する。	・課題や小テスト、授業内での活動を関心、意欲、態度の観点で適切に評価する。 ・他教科の授業を参観することで、教科横断的な視点で研鑽を積む機会とし、授業力を高める。 ・生徒の実態に合わせた学習内容と指導方法を共有し、協力して指導にあたる。
生徒指導部	基本的な生活習慣の確立 いじめの未然防止に係る取組の充実	・継続的な立番指導による挨拶指導を実施する。 ・学年と連携して段階的な遅刻指導を実施する。 ・規範意識を醸成するため、こまめに身だしなみや携帯電話指導の声掛けをする。 ・学期に1回いじめアンケートを実施し、いじめの実態把握と対処に努める。 ・SNSのトラブルを防止するため、講話を実施する。	・生徒指導部が立番指導時や校内において、積極的に生徒に声掛けをし、全職員でこまめに生徒に声掛けしていく体制を構築する。 ・生徒の些細な変化を見逃さないよう、全職員が丸となって生徒との信頼関係構築に努める。
進路指導部	生徒一人一人の進路実現に向け、きめ細やかな支援体制を作る。	・外部から進路に関する情報を収集し、多面的に分析して、発信・共有する。	・進学校として指導すべきことを、全職員で共通理解を図る。 ・進路に関する研究会等に参加し、有効な情報を収集、発信する。
特別活動部	生徒会行事や部活動、委員会活動への生徒の積極的参加を促す。	・生徒会活動や委員会活動を計画的に実施する。 ・生徒会行事が円滑に遺漏なく遂行されるように生徒会行事をとりまとめる。	・生徒会執行部や代議員、体育委員、文化委員と連携して、多くの生徒が積極的に行事に関わることができるように連絡を細かく取り合う。 ・生徒会執行部を中心に校内外でのボランティア活動に積極的に参加する。 ・部活動ガイドラインに基づき、部活動実態調査を実施し、各部活動の活動計画や状況を把握する。

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら主体的に健康な生活を送る態度の育成 ・自主的な清掃活動への取り組み ・教育相談活動では効率的な連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほけんだより」の発行や、保健委員会を通じて生徒全体の意識を高める。 ・清掃時間に行動を起こさせる指導。清掃週間では重点箇所を示す。 ・担任や学年主任との連携 SC 活動での情報交換をスムーズにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任による毎朝の健康観察を引き続き実施し、HR 活動の中でも健康生活に触れた指導がなされるよう働きかける。 ・清掃監督が時間どおりに清掃区域に行き、生徒が自主的に活動するよう声かけをする。 ・必要があれば保護者とも連携し、問題解決を図る。
国際教養部	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化への関心を高めさせる。 ・英語でコミュニケーションを図ろうとする姿勢を涵養する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語集中合宿、異文化体験発表会等を実施する。 ・留学生を受入れる。 ・海外研修や留学を積極的に斡旋する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の内容が、目標を達成するにふさわしい内容となるよう準備する。 ・留学生を通して異文化を学ぶ機会が得られるよう工夫する。 ・海外研修や留学について十分に説明する機会を設ける。
1 年学年会	本校生徒としての自覚と誇りを持たせるため、基本的生活習慣の確立と集団としての成長を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の規律を理解し、遵守させられるよう積極的に生徒観察と声かけを行う。 ・生活環境を整え、落ち着いた状態で日常を過ごさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年団で共通認識を持って指導を行う。 ・学校行事や清掃の時間など、生徒とともに活動する時間を大切に、公正な評価と適切な指導に留意する。
2 年学年会	自らの進路実現に向けて考察を深め、様々なことに挑戦する姿勢と心構えを育成させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の様々な場面を通して、自己分析と振り返りを繰り返し、進路実現に役立てさせる。 ・修学旅行や学校行事を活用し、自己肯定感を高めることで、前向きに進路実現について考察させ、さまざまな挑戦を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の中心を担い、積極的に行事の計画と実践に参加するように導く。 ・自己分析シートや振り返りシートを活用し、自分の考えたことや思ったことを表現する力を身につけさせる。 ・大小様々な成功体験から積極的な行動の姿勢を学び、自らの将来について前向きに考察させる。 ・個人面談やLT、総合的な学習の時間を活用し生徒に寄り添い、悩みを抱える生徒を良い方向に導く。
3 年学年会	生徒の進路目標実現に向けた支援体制を作り、実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・業後学習室や補習へ積極的に取り組ませる。 ・学習時間調査を通じて学習時間の確保と適切な学習方法を指導する。 ・十分な進路研究を行い、具体的なアドバイスをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日は学年+1 時間、休日は学年+2 時間の学習時間を確保し取り組むよう学年団として指導する。 ・面談、LT・総合的な学習の時間、学年集会などを通じて最新の受験情報を提供し、その上で将来を見据えた各自の進路研究を充実させる。